

社会医学講座

予防医学分野

著書

- 1 *大島 明, 津熊秀明, 味木和喜子, 松田 徹, 長岡 正, 小越和栄, 藤田 学, 井上真奈美, 石田照子, 岸本拓治, 小山幸次郎, 田中恵太郎, 早田みどり, 下地実夫: 1993年診断がん患者の生存率全国値の推計 (中間報告). 大島 明, 黒石哲生, 田島和雄 編: がん・統計白書—罹患/死亡/予後—2004. pp.161-167, 篠原出版新社, 東京 2004.
- 2 庄野菜穂子: 運動療法. 編集 代田浩之, 野出孝一: 循環器医が治療する糖尿病と大血管障害. pp277-279. メディカルビュー社. 東京. 2004.

学術論文

- 1 原めぐみ, 花岡知之: 長野県の低がん死亡率と農作物との関連についての疫学研究. 農工研通信 129(1): 2-6, 2004.
- 2 桧垣靖樹, 八尋拓也, 進藤宗洋, 田中宏暁: 生活習慣病予防及び治療のためのライフスタイル改善システムの開発—ウエイトコントロールを目的とした介入実験結果より—. 医科学応用研究財団研究報告. 21, 72-76, 2004.
- 3 °Kitajima S, Morimoto M, Liu E, Koike T, Higaki Y, Taura Y, Mamba K, Itamoto K, Watanabe T, Tsutsumi K, Yamada N, Fan J: Overexpression of lipoprotein lipase improves insulin resistance induced by a high-fat diet in transgenic rabbits. *Diabetologia*. 47(7): 1202-1209, 2004.
- 4 *Nishida Y, Tokuyama K, Nagasaka S, Higaki Y, Shirai Y, Kiyonaga A, Shindo M, Kusaka I, Nakamura T, Ishibashi S, Tanaka H: Effect of Mild Exercise Training on Tissue-Specific Glucose Effectiveness, Insulin Sensitivity, and EGP in Healthy Humans Estimated by a Two-Compartment Labeled Minimal Model. *Diabetes*. 53: 315-320, 2004.
- 5 庄野菜穂子: 安全に, 有効に, そして楽しく運動するために. 産業保健情報誌かささぎ 9. 10-11, 2004
- 6 庄野菜穂子: 再点検! 生活習慣病への取り組み方. すくらむ佐賀. 40. 2-4, 2004.
- 7 庄野菜穂子, 音成道彦, 松原建史, 村上清英, 内藤聖子, 劉 忠峰, 田中宏暁, 進藤宗洋: トレーニング時の運動強度の違いが骨格筋毛細血管分布に及ぼす影響. 健康医科学 19. 34-42, 2004.
- 8 *Tsukino H, Hanaoka T, Otani T, Iwasaki M, Kobayashi M, Hara M, Natsukawa S, Shaura K, Koizumi Y, Kashuga Y, Tsugane S: hOGG1 Ser326Cys polymorphism, interaction with environmental exposures, and gastric cancer risk in Japanese populations. *Cancer Science*. 95 (12): 977-83, 2004.
- 9 *Washio M, Hayashi R, Fukuoka Heart Study Group (K Tanaka is a member of the Group): Past history of obesity (overweight by WHO criteria) is associated with an increased risk of nonfatal acute myocardial infarction—a case-control study in Japan—. *Circ. J*. 68: 41-46, 2004.
- 10 *Washio M, Tokunaga S, Yoshimasu K, Kodama H, Liu Y, Sasazuki S, Tanaka K, Kono S,

Mohri M, Takeshita A, Arakawa K, Ideishi M, Nii T, Shirai K, Arai H, Doi Y, Kawano T, Nakagaki O, Takada K, Hiyamuta K, Koyanagi S: Role of prehypertension in the development of coronary atherosclerosis in Japan. *J. Epidemiol.* 14: 57-62, 2004.

- 11 *山澤文裕, 及川 健, 目崎 登, 向井直樹, 浅野 眞, 野田晴彦, 高畑武司, 横江清司, 小山由喜, 上田 忠, 岡田邦夫, 佐々木英夫, 高橋敏明, 庄野菜穂子: 日本陸連におけるスポーツ現場の救急管理体制. *日本臨床スポーツ医学会誌* 12. 142-146, 2004.
- 12 *Zou B, Suwa M, Nakano H, Higaki Y, Ito T, Katsuta S, Kumagai S: Decreased serum leptin and muscle oxidative enzyme activity with a dietary loss of intra-abdominal fat in rats. *J Nutri. Biochem.* 15: 24-29, 2004.

学会発表

- 1 Higaki Y: Oxidative stress-stimulated glucose transport in skeletal muscle. International Sports Science Network Forum in Nagano 2004. 2004. 11. 10. International Sports Science Network Forum in Nagano 2004 論文集 CD-ROM (シンポジウム)
- 2 °木村裕美, 小野ミツ, 桧垣靖樹, 後藤文子: 転倒予防教室実施1年後の追跡調査. 転倒リスクと転倒予防自己効力感について. 第63回日本公衆衛生学会総会. 2004. 10. 28. *日本公衆衛生雑誌*, 51 (10), 649, 2004.
- 3 *道下竜馬, 庄野菜穂子, 笠原貴紀, 鶴田敏幸: Multiple Risk Factor 保有者のインスリン抵抗性と運動負荷心電図 ST 低下との関係. *日本臨床スポーツ医学会誌*. 12(4) S110, 2004 日本臨床スポーツ医学会 10/30 (大阪)
- 4 庄野菜穂子, 道下竜馬: 高感度 CRP レベルと Metabolic Syndrome および食後の糖脂質代謝プロフィールについて. *肥満研究* 10. p186, 2004 日本肥満学会 9/29-30 (大阪)
- 5 田中恵太郎: 薬物代謝酵素の遺伝子多型と肝細胞癌罹患リスク. 第63回日本癌学会学術総会(シンポジウム). 2004, 10, 1. *Cancer Sci. (Suppl.)* 95: 419.
- 6 *田崎陽子, 別府美幸, 真名子香織, 久野一恵, 桧垣靖樹, 井本誠司, 佐賀県東与賀町地方計画「いきいき元気プラン21」の目標達成度の中間評価の経過と結果. 第63回日本公衆衛生学会総会. 2004. 10. 28. *日本公衆衛生雑誌*, 51(10), 343, 2004.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	田中恵太郎	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(2)	佐賀県における肝臓対策の評価と肝臓への進展因子に関する疫学的研究	4,200
教授	田中恵太郎	平成16年度厚生労働科学研究費補助金	(分担)	生活習慣改善によるがん予防法の開発と評価	5,000
教授	田中恵太郎	平成16年度厚生労働科学研究費補助金	(分担)	インフルエンザ予防接種のEBMに基づく政策評価に関する研究	2,200
講師	庄野菜穂子	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	運動療法による Multiple Risk Factor 改善支援及び評価方法の確立	1,600
講師	庄野菜穂子	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(1) (分担)	運動誘発適応の分子生物学解析が可能な作業測定方法開発とそれによる基礎知見	(分担なし)
講師	庄野菜穂子	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(A)(1) (分担)	骨格筋運動適応に関する分子生物学的研究	600
講師	庄野菜穂子	平成16年度佐賀大学学内COE	医学部若手研究者育成支援事業	動脈硬化危険因子重複状況による至適運動強度予測式の開発	250
助手	檜垣 靖樹	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)(2)	酸化ストレスによる骨格筋の糖取り込み亢進メカニズムに関する研究	1,300
助手	檜垣 靖樹	平成16年度厚生労働省科学研究費補助金	(分担)	健康づくりのための運動指針に関する研究—身体活動量増加による生活習慣病の一次予防効果—	2,000
助手	檜垣 靖樹	平成16年度科学研究費補助金	基盤研究(B)(1) (分担)	体力の変化に影響を及ぼす遺伝子多型に関する研究	1,000
助手	松永(原)めぐみ	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	遺伝的感受性を考慮した慢性C型肝炎の進展を予防する生活習慣に関する分子疫学的研究	1,700

環境医学分野

著書

- 1 彌富美奈子：実践 心の健康づくり—職場のメンタルヘルス対策事例集—中央災害防止協会編：II。職場環境等の把握及び改善。ストレス軽減を目指した作業環境活動 42-46。2004。
- 2 甲斐今日子：衣生活の情報。奥村美代子・赤星礼子編：生活経営学 123-132。九州大学出版会 2004。

学術論文

- 1 市場正良：白血球DNA付加体を指標とした環境発がんのリスク評価，日衛誌，59：311-316，2004。

- 2 *Kim YD, Todoroki H, Oyama T, Isse T, Matsumoto A, Yamaguchi T, Kim H, Uchiyama, I, Kawamoto T: Identification of cytochrome P450 isoforms involved in 1-hydroxylation of pyrene. Environ Res. 94(3): 262-6, 2004.

学会発表

- 1 *原 邦夫, 花岡知之, 山野優子, 潘 国偉, 市場正良, 高橋 謙: 多環芳香族炭化水素類のコークス炉作業等々の曝露濃度と周辺環境中濃度. 第77回日本産業衛生学会. 2004, 4, 16. 産衛誌. 46: 385.
- 2 市場正良, 松本明子, 近藤敏弘, 堀田美加子, 友国勝麿: DNA メチル化付加体測定の検討. 第74回日本衛生学会. 2004, 3, 25. 日衛誌. 59: 166.
- 3 市場正良, 松本明子, 友国勝麿: 病院病理部の労働環境. 第77回日本産業衛生学会. 2004, 4, 16. 産衛誌. 46: 435.
- 4 °近藤敏弘, 市場正良, 松本明子, 堀田美加子, 友国勝麿: 喫煙者の尿中 PAH 代謝物の測定 禁煙前後の比較. 第74回日本衛生学会. 2004, 3, 25. 日衛誌. 59: 166.
- 5 *國安弘基, 佐々木隆光, 笹平智則, 市場正良: 大腸癌発生における RAGE 及びその ligand の関与. 第15回日本消化器癌発生学会 シンポジウム 2 「消化器癌治療の新展開」, 札幌, 2004, 8, 19-20
- 6 松本明子, 市場正良, 一瀬豊日, 小山倫浩, 櫻田尚樹, 川本俊弘, 友国勝麿: Aldh2 ノックアウトマウスを用いたアルコール性肝障害の検討. 第74回日本衛生学会総会. 2004, 3, 26. 日衛誌. 59: 195.
- 7 *小川真規, 小山倫浩, 一瀬豊日, 山口哲右, 木長 健, 鈴木理恵, 松本明子, 北川恭子, 櫻田尚樹, 川本俊弘: アセトアルデヒド吸入曝露による Aldh2 ノックアウトマウス及び野生型マウスの尿中 8-OHdG 濃度の変化. 第77回日本産業衛生学会. 2004, 4, 16. 産衛誌. 46: 477.
- 8 *小山倫浩, 一瀬豊日, 木長 健, 小川真規, 山口哲右, 鈴木理恵, 櫻田尚樹, 松本明子, 北川恭子, 川本俊弘: エタノール亜急性投与による Aldh2 ノックアウトマウスの生存率及び肝内 Aldh と Cyp の発現. 第74回日本衛生学会総会. 2004, 3, 26. 日衛誌. 59: 160.
- 9 *小山倫浩, 一瀬豊日, 小川真規, 山口哲右, 鈴木理恵, 木長 健, 櫻田尚樹, 松本明子, 八嶋康典, 尾崎真一, 川本俊弘: 気管支上皮におけるチトクローム酵素 (CYP) の発現. 第77回日本産業衛生学会. 2004, 4, 16. 産衛誌. 46: 552.
- 10 *佐々木隆光, 市場正良, 笹平智則, 志村英生, 池田靖洋, 國安弘基: リノレン酸による AOM in vitro 形質転換の抑制. 第93回日本病理学会総会, 札幌, 2004, 6, 9-11.
- 11 *佐々木隆光, 笹平智則, 志村英生, 丸山博司, 市場正良, 國安弘基: リノール酸による AOM in vitro 形質転換の抑制. 第63回日本癌学会総会, 福岡, 2004, 9. 29-10. 1.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教授	市場 正良	平成16年度厚生労働省がん研究助成金	(分担)	環境化学発がん物質の曝露評価法の開発及び疫学研究への応用による発がんリスク評価に関する研究	1,000
助教授	市場 正良	平成16年度佐賀大学学内COE	医学部若手研究者育成支援事業	屋内気中揮発性有機化合物(VOC)の測定と評価	1,000
助手	松本 明子	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	アルデヒド脱水素酵素2欠損マウスにおけるアルコール投与後肝薬物代謝酵素活性の解析	500

法医学分野

著書

- 1 *恒成茂行, 木林和彦(監修): 検視実務ハンドブック(改定). 熊本県警察本部刑事部捜査第一課編. 2004.

学術論文

- 1 木林和彦: 法医学からみた虐待の診断と予防. 佐賀小児保健研究 5: 26-17, 2004.
- 2 Kibayashi K, Iwadate K, Shojo H: Milk aspiration in an infant during supine bottle feeding: a case report. Med. Sci. Law 44: 272-275, 2004.
- 3 Kibayashi K, Shojo H: Sudden death in psychiatric patients due to pulmonary thromboembolism. Research and Practice in Forensic Medicine 47: 189-192, 2004.

学会発表

- 1 猩々英紀, 木林和彦: 頭部外傷による脳内シナプトフィジンの変化. 第88次日本法医学会総会. 2004, 6, 4. 日法医誌 58: 58.
- 2 *松村父征生, 三好貴久, 境野正武, 尾形 親, 木林和彦: 佐賀県下における過去12年間の自殺統計. 第88次日本法医学会総会. 2004, 6, 3. 日法医誌 58: 108.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	木林 和彦	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(2)	熱中症の脳内病態解析による法医神経病理学の展開	6,400
教授	木林 和彦	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	萌芽研究	脳挫傷で特異的に発現する遺伝子の同定	700
助手	猩々 英紀	平成16年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	頭部外傷によるシナプトフィジンの変化と神経機能低下の解明	700
助手	猩々 英紀	平成16年度佐賀大学学内COE	医学部若手研究者育成支援事業	頭部外傷に伴う神経機能低下に関する研究	1,000

国際医療コミュニケーション科学分野

学術論文

- 1 池田豊子, 日高三郎: 19世紀西欧の医師の権力とエチケットの役割りの分析: 比較文化研究 65: 79-87, 2004.

医療人間学部門

学術論文

- 1 針貝邦生: 天啓規定優先原則(2) —タントラヴァールツィカ聖伝章和訳研究(4)—, 西日本宗教学雑誌 26: 62-83, 2004.
- 2 針貝邦生: タントラヴァールツィカ聖伝章の研究: 平成12年度～平成15年度文部科学省科学研究費(基盤研究(C)) 報告書: 1-321, 2004.